

文京学院大学 本郷キャンパス 東本館

東京都文京区

設計施工 / 竹中工務店
Bunkyo Gakuin University Higashi-Kan
Takenaka Corporation



本郷通りからの正面ファサード

設計主旨

本計画は、文京学院創立90周年整備事業の一環として、保健医療技術学部の新しい校舎と文京幼稚園の拡張整備により、本郷東キャンパスを再構築する計画である。同時期に行われた本郷通り対面に位置する西キャンパス整備と施設を補完しながら、複雑な建替ステップを経て完成した。

一 文京学園らしさを象徴するレンガの現代的な表現

文京学院大学本郷キャンパスは、村野・森事務所設計の仁愛講堂を始めとして、煉瓦タイルの表情に統一されている。本計画においては、西面の日射の低減や外壁のメンテナンス性にも配慮し、幅440mmの煉瓦ブロックの透かし積みスクリーンによって文京学園らしさを表現した。煉瓦スクリーンの一部には、仁愛講堂の村野・森事務所特有の窓形状をモチーフに、フラットバーの金属まぐさによる開口デザインを施し、文京学園らしさの表現と共に、本郷通り沿いのファサードにリズムを与えた。煉瓦スクリーンは内部空間において、西日を

低減するだけでなく、木洩れ日のように時間により陰影を変化させ、教室や学生の行き交う階段やEVまわりに魅力的な内部空間を創出している。

一 計画道路上高さ制限における、更新性の高い3層の医療系大学実習施設の実現

敷地は都市計画道路上に位置し、鉄骨造かつ10m以下の高さ制限を受ける。床上配管用の2重床、各スパン毎の外出しパイプスペースの配置、無梁架構の廊下による配管スペースの確保など、医療系実習室における設備のフレキシビリティに配慮した3層の実習室を実現している。

一 将来計画を見据えたサステナブルな計画
本施設は、これからの多様な教育ニーズの変化やキャンパスの再整備に柔軟に対応できるように計画を行った。将来の設備更新性の確保と共に、妻側外壁やコア周りに耐震鋼板壁を集約配置した構造計画とし、高い耐震性能と内部空間の可変更新性を確保した。また、キャンパスの将来計画における複合的な日影規制を考慮し、3階の柱脚には高力ボルト締付による柱継手（無溶接イーカブラ工法）を採用し、部分的な減築の容易性を考慮した。

一 幼稚園のアメニティ

幼稚園の計画においては、高さ制限により半地下となった遊戯室において断面的な工夫による観覧スペースやビデオスペースを確保の他、暗くなりがちな園児用トイレを外壁側に透明感を確保し配置することで、保育環境に高いアメニティを実現している。

(藤田純也 / 竹中工務店)



藤田 純也……ふじた じゅんや
1959年神奈川県生まれ。1985年東京工業大学総合理工学科建築学専攻修了、同年竹中工務店入社。1992-94年レンゾ・ピアノ・ビルディング・ワークショップ・ジェノバ。現在、同社東京本店設計部設計第3部門設計3グループ長



大内 靖志……おおうち やすし
1973年山形県生まれ。1996年東北大学工学部卒業、1998年東京工業大学総合理工学科建築学専攻修了、同年竹中工務店入社。現在、同社東京本店設計部設計第3部門設計5グループ主任



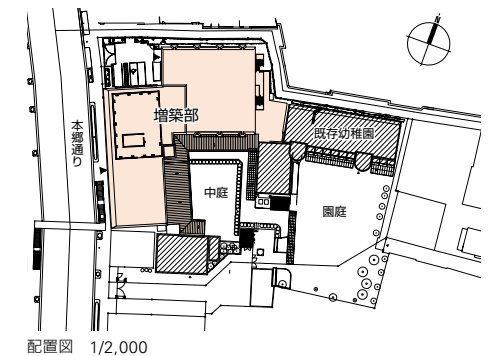
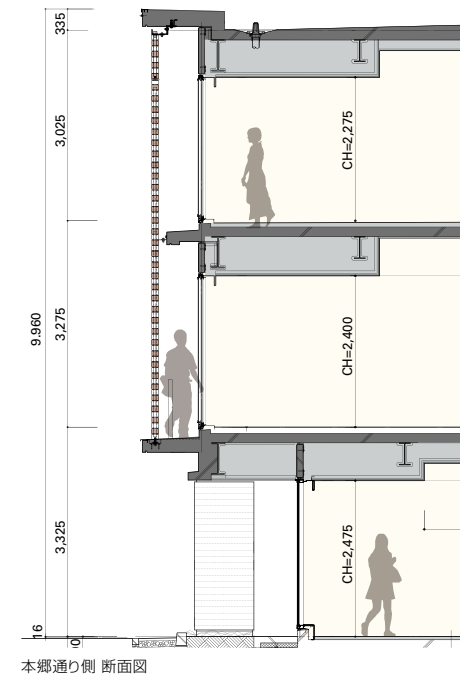
岩崎 宏……いわさき ひろし
1980年東京都生まれ。2003年横浜国立大学工学部卒業、2006年東京芸術大学大学院修士課程修了、同年竹中工務店入社。現在、同社大阪本店設計部設計第7部門設計2グループ主任



上 / 階段室から煉瓦スクリーンを見る 左中 / 学生ラウンジから中庭を見る 左下 / 仁愛講堂の開口部 右下 / 外光が交差するエレベーターホール



煉瓦スクリーン越しの外光

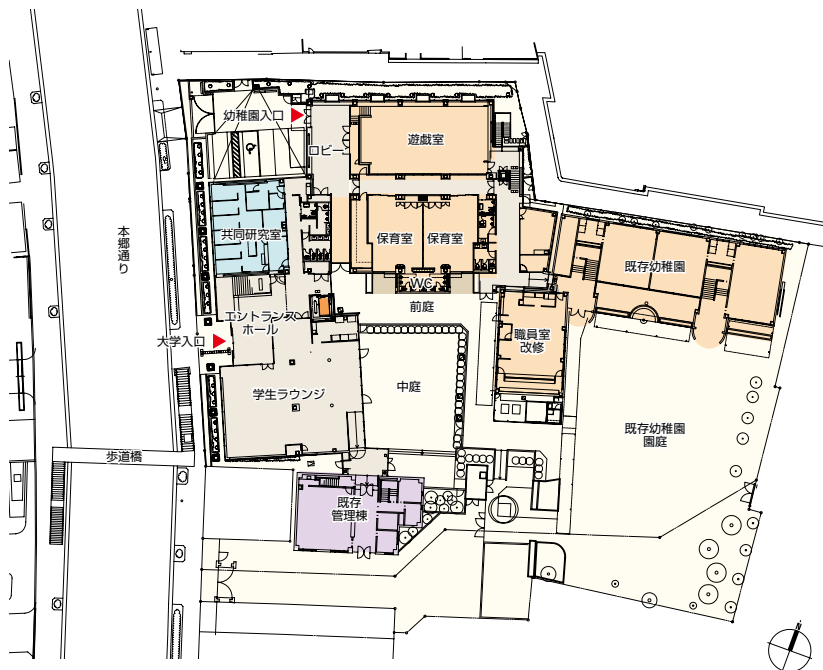




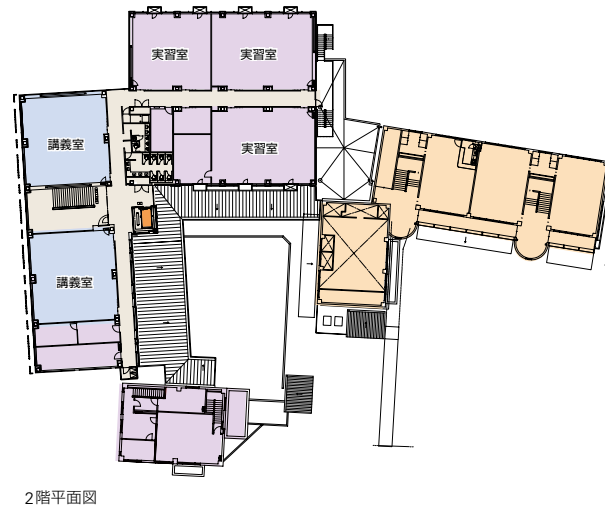
半地下として高さを確保した遊戯室



上/外光に溢れる園児用トイレ
下/明るく居心地の良さを考慮したえほんのへや(改修)



配置・1階平面図 縮尺1/1,000



2階平面図



村野藤吾氏のデザインを継承した3連アーチ

文京学院大学 本郷キャンパス 新S館

東京都文京区

設計・監理/清水建設一級建築士事務所
施工/清水建設

BUNKYO GAKUIN UNIVERSITY HONGO CAMPUS S-KAN
SHIMZ CORPORATION

文京学院大学 本郷キャンパス 東本館 データ

所在地 東京都文京区向丘2-4-1

主要用途 学校(大学・幼稚園)

建築主 学校法人 文京学園

設計・監理 竹中工務店

担当/建築: 藤田純也、大内靖志、岩崎 宏 構造:
若林 博、金田崇興 設備: 小野敦史、那須律男

監理: 永島亮太郎、長沼克拓、平出 亨、柳沢正伯

施工 竹中工務店

担当/1期: 岡本克己、中泉浩二、西森久和、米山
明日香(設備) 2期: 東 浩明、田中修弘、田辺 寛
(設備)

設計期間 2011年7月~2014年7月

工事期間 2012年2月~2012年8月(I期)

2013年8月~2014年10月(II期)

【建築概要】

敷地面積 4,004.74㎡

建築面積 1,604.41㎡

延床面積 3,717.79㎡

建ぺい率 56.55% (許容76.44%)

申請以外の面積を含む

容積率 120.19% (許容372.78%)

申請以外の面積を含む

構造規模 S造 地上3階、塔屋1階

地域地区 商業・第1種住居・第1種中高層住専地域、防火・
準防火地域

【学校施設】

学部構成 保健医療技術学部

学生数 約300人(大学)

教職員数 約40人

特殊設備 可動舞台、可動客席: 遊戯室

【主な外部仕上げ】

屋根 シート露出防水

外壁 有孔テラコッタブロック還元焼成品 透積工法 他

建具 アルミサッシ 二次電界着色

外構 インターロッキング舗装、ゴムチップ舗装

植栽: シナトネリコ、サツキツツジ等

【主な内部仕上げ】

講義室 床/タイルカーペット 壁/EP 天井/グラス

ウールグラスクロス貼、EP

実習室 床/耐薬品性ビニル床シート 壁/EP 天井/

グラスウールグラスクロス貼、EP

遊戯室 床/フローリング貼 壁/保護シート貼、EP

天井/グラスウールグラスクロス貼、EP

保育室 床/フローリング貼 壁/メラミン化粧板、EP

天井/グラスウールグラスクロス貼、EP

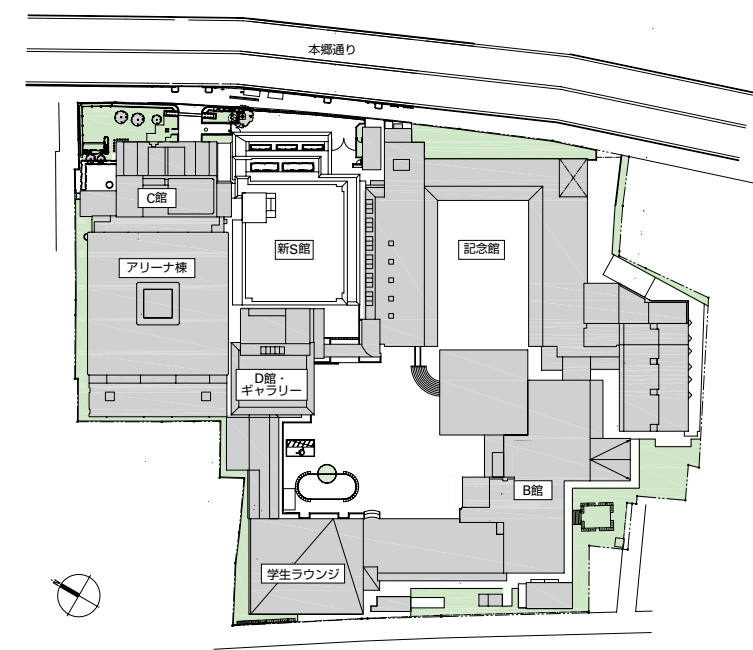
撮影/株式会社 ミヤガワ

協力会社

電気設備工事	関 電 工
鉄骨資材	旭化成建材
鉄骨工事	古橋鉄工所
鉄骨階段工事	横森製作所
金属屋根工事	三晃金属工業
移動観覧席・電動ステージ	愛
内装・外構フェンス工事	久保工業
再生木デッキ	エア・ウォーター・エコロッカ
養生・クリーニング工事	ア - サ -



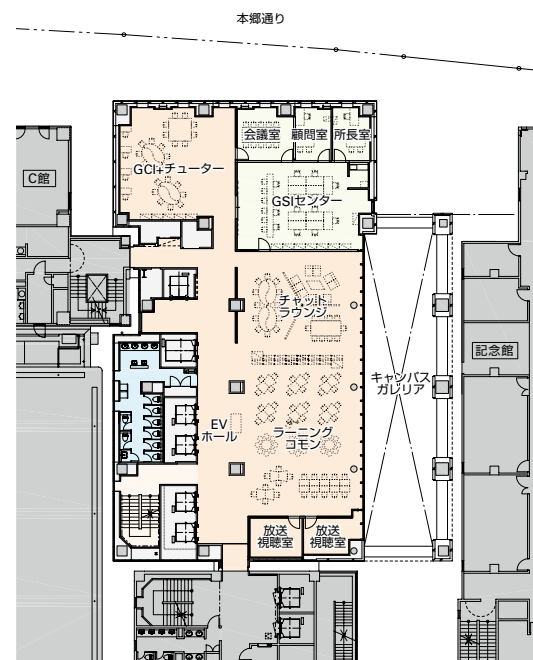
回遊型キャンパス



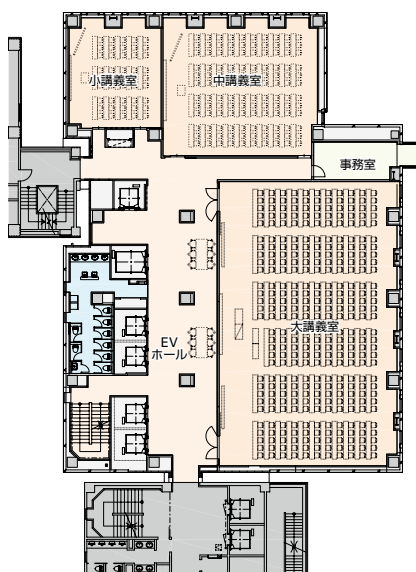
キャンパス配置図 縮尺1/1,600



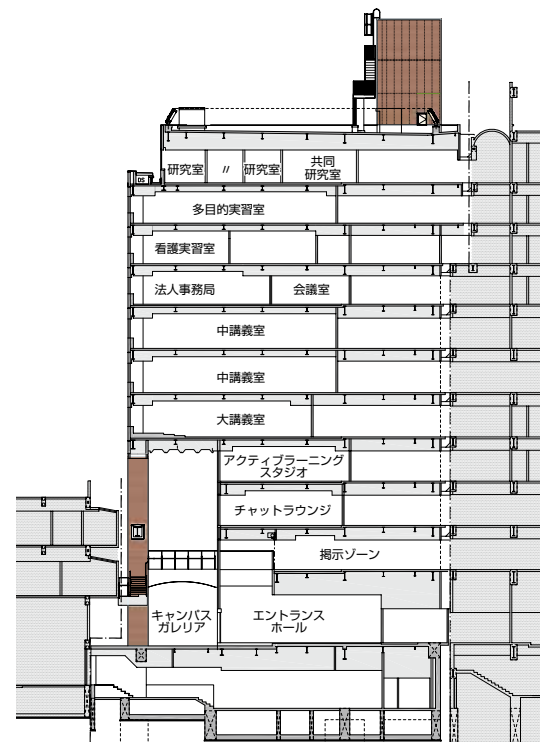
外光が差し込む4層吹抜けの「キャンパスガレリア」



3階平面図 縮尺 1/600



5階平面図



南北断面図 縮尺 1/600



1階カフェ



3階ラーニングコモン

ひと・キャンパス・未来をつなげる新S館

本計画は文京学院創立90周年を記念した、学園発祥の地である本郷キャンパスでの使いながらの新棟建替プロジェクトである。学園の建学の精神「自立と共生」の具現化をコンセプトとし、グローバル教育、能動的授業 (active learning)、課題解決型学習 (problem-based learning) など変化する今日の教育プログラムに合せた対話型、グループ型の学修スタイルに対応する新しい教育環境とグローバルで学際的な知的交流の場づくりが求められた。

コミュニケーションキャンパス…ひとのつながり

既存メインアプローチにキャンパスゲートとなる外光が差し込む4層吹抜けのガレリアを設け、内部はカフェやグローバルcommons、ラーニングcommonsなど多様なコミュニケーションを誘発するスペースを配した。ガラス張りオープンな空間にすることで学生たちの意識を刺激し自学自習を促し、ひとのつながりを感じる交流の場づくりを行った。また、

既存棟の異なっていた各階の床レベルを調整しバリアフリー化を行いブリッジとあわせて回遊型キャンパスを実現している。

伝統の継承と未来への進化…キャンパスのつながり

外観は、学園と親交の深かった建築家村野藤吾氏が設計した隣接する本部棟の開口部をデザインモチーフとし、同時に既存キャンパスの外装素材を継承することでキャンパス全体の調和を図りつつ、本郷通りに面して学園の伝統と新しいアイデンティティを感じさせるファサードを創出した。

ユニバーサル&フレキシブル…未来とのつながり

内部空間では、制振構造の採用より耐震性の向上とともに、柱の極少化と外壁ダクト空調方式により17mロングスパンの700㎡無柱空間を実現させた。既存校舎に合せた低階高でありながらアクティブラーニングやラーニングcommons、各種実習室などのさまざまな新しい学修環境が積層する高密度で、将来の変化に対応するフレキシブルな新校舎を実現させた。

(石原政幸/清水建設)



石原 政幸……いしはら まさゆき
1964年埼玉県生まれ。1989年法政大学大学院工学研究科建設工学科専攻修了。同年清水建設設計本部入社。現在、同社設計本部プロポーザル推進室教育文化計画部長



小川 浩平……おがわ こうへい
1979年大阪府生まれ。2006年東京大学大学院建築学専攻修士課程修了。同年清水建設設計本部入社。現在、同社設計本部生産・研究施設設計部所属



日野 哲也……ひの てつや
1975年神奈川県生まれ。1999年工学院大学建築学科建築デザインコース卒業。2012年清水建設入社。現在、同社設計本部教育・文化施設設計部所属



仁愛ホール中庭より南側全景を見る

文京学院大学 本郷キャンパス 新S館 データ

所在地 東京都文京区向丘1-19-1
主要用途 学校(大学)
建築主 学校法人 文京学園
設計・監理 清水建設一級建築士事務所
担当/建築: 石原政幸*, 小川浩平, 日野哲也*, 藤原亮治 構造: 広瀬景一*, 磯石政文, 佐藤彰
設備: 本間康雄*, 中澤公彦, 宮原晋一郎*
監理(建築): 宮崎俊亮 (*設計監理共)
デザイン協力 フィールドフォー・デザインオフィス
担当/井筒英理子
施工 清水建設 担当/大畑雄一, 佐藤康久
設計期間 2011年12月~2013年1月
工事期間 2013年2月~2014年2月
[建築概要]
敷地面積 11,482.45㎡
建築面積 945.11㎡
延床面積 9,669.39㎡

建ぺい率 67.71% (許容69.41%)
容積率 312.66% (許容370.61%)
構造規模 S造, CFT造, 一部RC造
地下1階, 地上11階, 塔屋2階
地域地区 商業地域, 第一種住居地域, 防火地域, 第3種高度地区, 第1種・第2種文教地区
[学校施設]
学部構成 外国語, 経営, 人間, 保健医療技術の4学部
学生数 4,762名(平成27年5月現在)
教職員数 188名(大学専任教員)
[主な外部仕上]
屋根 露出アスファルト防水外断熱工法
外壁 ニ丁掛けタイル打込みPCa板
建具 アルミサッシ, ペアガラス
外構 レンガブロック敷
[主な内部仕上]
エントランス 床/大判磁器質タイル 壁/花崗岩, 化粧ケイカル板 天井/岩綿吸音板

アクティブラーニングスタジオ, 講義室 床/タイルカーペット 壁/硬質石膏ボード, EP塗装 天井/岩綿吸音板
カフェ 床/フローリング貼, ウレタン塗装 壁/硬質石膏ボード, EP塗装 天井/Mバー, GWボード敷込
撮影/近代建築社(新井隆弘写真事務所)
P.169撮影/㈱エスエス東京
協力会社
電気設備工事 弘電社
鉄骨工事 阪和興業
鉄骨階段工事 横森製作所
鋼製建具・シャッター工事 三和シャッター工業
タイル工事 丸芳陶業
鉄筋材料 機械式継手 東京鉄鋼
製作金物工事 アイホウ
耐震天井・内装工事 オクジュ
パーティションライティングウォール工事 岡村製作所
サイン工事 K O Y A M A